

## 電動アシスト自転車

## 取扱説明書

# Gran Battement



- この度はお買い上げ頂き、誠に有難うございます。
- 本製品をお使いになる前に、必ず取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管してください。
- 製品仕様は予告なく変更されることがあり、画像や内容が一部実車と異なる場合があります。

お問い合わせ先:京の洛スク [otoiawase@rakusuku.com](mailto:otoiawase@rakusuku.com)



# 目次

## 1、安全上のご注意

自転車……………P.2～4

バッテリー……………P.5～6

## 2、電動アシスト自転車(特徴)

電動アシスト仕組み……………P.7

走行距離の目安 ……………P.7

## 3、バッテリーと充電器について

充電器について……………P.8

バッテリーについて……………P.8

## 4、自転車とバッテリーの保管方法

自転車の保管方法 ……………P.9

バッテリーの保管方法 ……………P.9

## 5、折りたたみ手順 …… P.10

## 6、バッテリーの着脱 …P.11、12

## 7、電源スイッチ、充電方法

BARON X26 スイッチ……………P.13～14

充電方法…………… P.15

## 8、使用条件

最大積載重量……………P.16

幼児座席 …………… P.16-17

## 9、調整方法

サドル…………… P.18-19

ハンドル …………… P.20-22

ペダル……………P.23

ブレーキ……………P.24-25

クイックリリースハブ……………P.26

バルブの種類と空気の補充方法 P.27

## 9、変速レバーの種類と操作方法

変速レバーの種類……………P.28

操作方法 ……………P.29

## 10、乗車前点検

乗車前点検 1 ……………P.30

乗車前点検 2……………P.31-32

乗車前点検 3……………P.33

乗車前点検 4……………P.34

## 11、定期点検 ……P.35

## 12、各部名称……………P.36

故障かなと思ったら… P.37-42

仕様書 …………… P.43

自転車安全利用五則 ……P.44

点検整備チェックリスト/… P.45

# 1、 安全上のご注意

電動アシスト自転車は、運転免許証は不要ですが、一般の自転車とは異なりますので、ご使用前に必ず取り扱い説明書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。

●お使いになる人や他の人への危害を未然に防止する為に必ずお守り頂く事を分類して説明しています。

 <b>危険</b>	<b>人が死亡又は重傷などを負う可能性が想定される 及び危険が切迫して生じることが想定される</b>
 <b>警告</b>	<b>人が死亡又は重傷などを負う可能性が想定される</b>
 <b>注意</b>	<b>人が傷害を負う可能性又は物的損害のみが発生する可能性が想定される</b>

	<b>この表示はしてはいけない内容・・・禁止</b>
	<b>この表示は必ず実行していただく内容・・・強制</b>

## 1-1、 安全上のご注意(自転車)

 <b>警告</b>			
	<b>併走の禁止・・・2台以上で走行するときは、横に併走して走らないでください。</b>		<b>自転車に異常を感じた場合は乗らない</b>
	<b>積載条件を超える荷物は積まない</b>		<b>視界の悪いときは乗らない・・・視界が悪いときは押して歩いてください</b>
	<b>手やハンドルに荷物を引っかけたりペットをつながない</b>		<b>カーブを走行するときには、曲がる側のペダルをさげない</b>

## 1-1 安全上のご注意(自転車)



禁止事項



強制指示

 <b>警告</b>			
	スピードを出し過ぎたまま、 <u>急カーブを曲がらない</u>		乱暴に運転したり、アクロバト的な乗り方をしない
	夜間・トンネル内・霧発生時など視界が悪いときは、無灯火で乗らない		滑りやすい靴や、かかとの高い靴などをはいて乗らない
	滑りやすいところで乗らない・・・積雪、凍結した道、鉄板の上など		自転車を走行以外の目的に使用しない
	飲酒時やかぜ薬を服用したとき、体調が悪いときは乗らない		<u>組み立て前の自転車や未調整の自転車には乗らない</u>
	モーターユニット、クランクセンサーの分解や注油をしない		<u>ブレーキシュー、タイヤ、リムには絶対に注油しない</u>
	前ブレーキだけのブレーキ操作はしない		2人以上で乗らない。またハブステップなどの突出物も装着しない
	スタンドを立てたまま、ペダルを強く踏み込まない		走行中に手や足でライトの照射角度を調整しない
	積載条件を超える荷物は積まない		片手運転の禁止・・・傘さし走行、携帯電話を使用しながらの走行
	回転している部分(車輪、チェーンなど)に手や足、物を近づけない		サドルやハンドルの <u>限界線を越えて乗車しない</u>
	<u>水洗い、雨ざらしをしない・・・</u> 電気系の故障の原因となります		巻き込まれやすい服装で走行しない



禁止事項



強制指示



警告

	乗車前は必ず点検する事・・・ハンドル、車輪の固定、タイヤ空気圧を確認		荷物はキャリア(荷台)やバスケットに積む事
	荷物を載せるときは積載条件を守る事		走行中に異常がみられる場合は整備店にて点検を受ける事
	停止中は <u>ペダルから足をはずして、地面に足をつける。ブレーキレバーは左右握る事</u>		自転車は <u>雨に濡れない場所に保管する事</u> ・・・自転車部分、通電端子などに重大な不具合がおこります
	1年ごとに自転車安全整備店で点検を受ける事		使用開始後2ヶ月以内に安全整備店で点検を受ける事
	<u>自転車を転倒させたり、水に浸かった場合は、直ちに使用を中止し、安全整備店にて点検を行なう事</u>		
	電動アシスト自転車の特性に慣れるまでは、安全な場所で練習する事		
	雨天時は転倒しやすく危険な為、走行は控えること		



注意

未舗装路(雪、砂、岩、悪路、荒地など)走行はできませんが故障の原因となり製品保証の対象外となります。走行する場合はご自身の判断をお願いします。

## 1-2 安全上のご注意 (バッテリー、充電器)

 禁止事項     強制指示

 危険			
	バッテリーを火中に入れたり、加熱しない		バッテリーの端子間を金属で接触させない
	バッテリーの分解・改造はしない		バッテリーを落下させたり、衝撃を与えたりしない
	専用のバッテリーのため、他の機種や他の用途には使用しない		充電器のケース、コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
	バッテリーの液が目に入ったときは、水で十分に洗って医師の治療を受ける事		バッテリーを充電する場合は専用の充電器を使用する事
 警告			
	<u>幼児の手の届くところでは充電しない</u>		電源プラグを濡れた手で抜き差ししない
	電源コードを破損、加工、束ねない		浴室など <u>湿気の多いところや屋外で雨に濡れるところでは充電しない</u>
	バッテリーに <u>水をかけたり、水中にいれない</u>		<u>延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線はしない</u>
	バッテリーを閉め切った倉庫や自動車内など、 <u>高温になる場所に保管したり放置しない</u>		電源プラグのほこり等は定期的に取り除き、差し込む際は根元まで確実に入れる事

## 1-2 安全上のご注意(バッテリー、充電器)

 禁止事項  強制指示

 注意			
	充電中は、身体の同じ箇所を充電器に長時間ふれさせない		充電をしないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
	電源プラグを抜くときは、コードを持たずに、 <u>必ず先端のプラグを持って抜く事</u>		電源プラグを濡らさないように注意する事

## 2、電動アシスト自転車について【特徴】

お買い上げ頂きました自転車は、電動補助システム(アシスト)がついた自転車です。電動アシスト自転車は一般の自転車とは異なった部分がありますので取り扱い説明書をよくお読みいただき、正しい知識を身につけて、安全、快適にお乗り下さい。

### 2-1 電動アシストのしくみ

人がペダルを踏む力でアシストがかかる商品とペダルを回転させてアシストがかかる商品とあります。乗られる商品の特性を確認して走行してください。

### 2-2 電動アシストが作動しないとき

下記のときはアシストが働きません。

- 速度が 24km/h 以上でた場合
- ペダルの回転を止めているとき
- バッテリーの残量が無くなった場合やなくなりかけている場合
- ブレーキレバーを握っている場合

### 2-3 走行できる距離の目安

走行できる距離の目安は、バッテリーの容量によって異なり、使用年数によって徐々に短くなります。

5Ah～7Ah	15km～30km
8Ah～9Ah	20km～40km
10Ah～12Ah	40km～60km
13Ah～15Ah	60km～80km

- 走行状況、道路状況、気候などにより一回の充電で走行できる距離は異なります。  
特に整備状態(タイヤの空気圧など)、過積載や上り坂が多い場合は、走行できる距離が短くなります。
- バッテリーの特性上、冬季は走行できる距離が短くなります。
- 走行距離はあくまで目安で、走行距離を保証するものではありません。

## 3、バッテリーと充電器について

### 3-1 充電器の設置場所

充電器の設置場所は下記の条件をみたす場所で充電をしてください。

- 風通しがよく湿気の少ない場所
- 水のかからない場所
- 幼児やペットが触らない場所
- 直射日光や雨にあたらない場所
- 室内の気温が 15～25℃位の場所

### 3-2 充電の注意

- ①バッテリーは出荷時には満充電ではありませんが、そのまま使用いただき一旦使い切ってから充電を行ってください。
- ②環境やバッテリーの状態により、充電されなかったり、充電器のランプの表示が正常に表示されない場合がございます。この場合は、数km走行してから再度充電を試みてください。
- ③充電中は充電器、バッテリーが熱くなりますが、異常ではございません。



## 注意

充電が完了されたら、充電器のプラグを抜いてください。繋いだままの保管はバッテリーや充電器の寿命を縮めます。

### 3-3 バッテリーについて

- ①バッテリーの交換時期は購入から約2年です。  
交換時期の目安として、走行距離が通常の半分以下になったら交換してください。
- ②使用条件によっては、使用期間が2年未満の場合でも走行距離が半分以下になる場合がございます。
- ③バッテリーは消耗品です。品質保証期間内であっても内部セルの消耗の場合には保証されません。
- ④充電の際には、最初にバッテリーの充電口に充電器のコネクターをさしてから、コンセントにさしてください。逆の手順にすると充電口が傷みます。

## 4、自転車とバッテリーの保管方法

### 4-1 自転車の保管方法

- ①雨ざらしは自転車、バッテリーに様々な問題を起こします。  
絶対にしないでください。
- ②屋根があっても風が強い日は、雨ざらしと同様の状態です。サイクルカバー等  
をご使用ください。
- ③自転車はご使用状態に関わらず定期的に点検が必要となります。ご購入時か  
ら、2ヶ月目、半年目、1年目、以降半年毎に点検を受けてください。
- ④自転車を1ヶ月以上ご使用されない場合は、空気を補充してからご使用くださ  
い。

### 4-2 バッテリーの保管方法

- ①バッテリーの保管は、暑い場所でも寒い場所でも寿命を縮めます。家の中で1  
5℃から25℃位で保管、充電をしてください。
- ②バッテリーを長くご使用して頂くためには、手元残量が 20%以下になってから、  
充電をしてください。
- ③冬季は一回の充電での走行距離が短くなります。また夏季に高温になる場所  
で保管をされると、著しくバッテリーの寿命が短くなる可能性がございます。
- ④1ヶ月以上使用しないときは、残量を半分ほど残した状態で気温変化の少ない  
室内で保管してください。



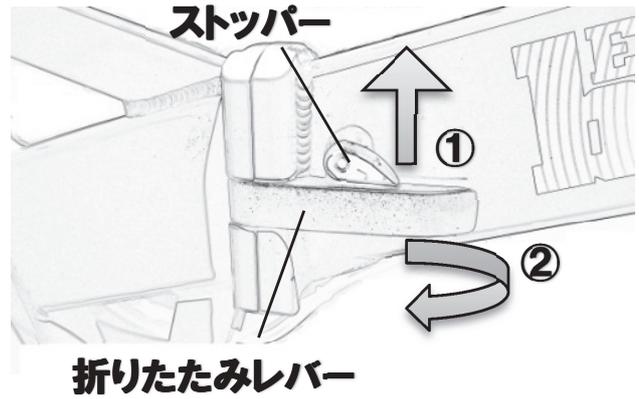
## 注意

バッテリー残量が空の状態でも長く保管された場合は、正常に充電が出来なくなり、寿命を大幅に縮めます。

## 5、折りたたみ手順

### ①フレーム折りたたみ

ストッパーを上へ上げ、折りたたみレバーを手前側に開けてください。



### ②フレーム組み立て

折りたたみの時とは逆の手順で

フレームをまっすぐにしてから折りたたみレバーを閉め

安全のためにストッパーで固定してください



### 警告

折りたたみレバーの間に指をいれないでください。指や手を挟んで怪我をするおそれがあります。



### 警告

折りたたみ部分は、組み立て後に固定が確実に出来ているかを確認してから乗車してください。



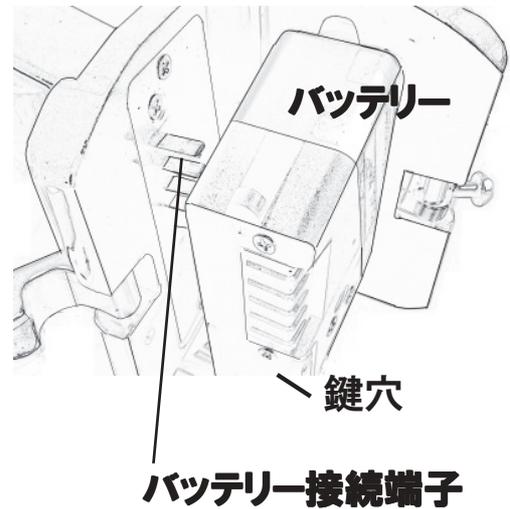
### 禁止

ガタや緩みがあるときは、乗車しない。

## 6、バッテリーの着脱

### ①バッテリーのロック

●フレームを折りたたむとバッテリー側に鍵穴がありますので鍵を差し込み回して施錠/開錠してください。



## ⊘ 禁止

キーの差し込み時に、端子に接触しないように気をつけてください。ショートを起こし危険です。

### ②バッテリーの取り出し

フレームを開けて、スイッチの電源ボタンを押し、確実に放電をしてください。

バッテリーの下側の取っ手を持ち、引き抜いてください。



## 強制指示

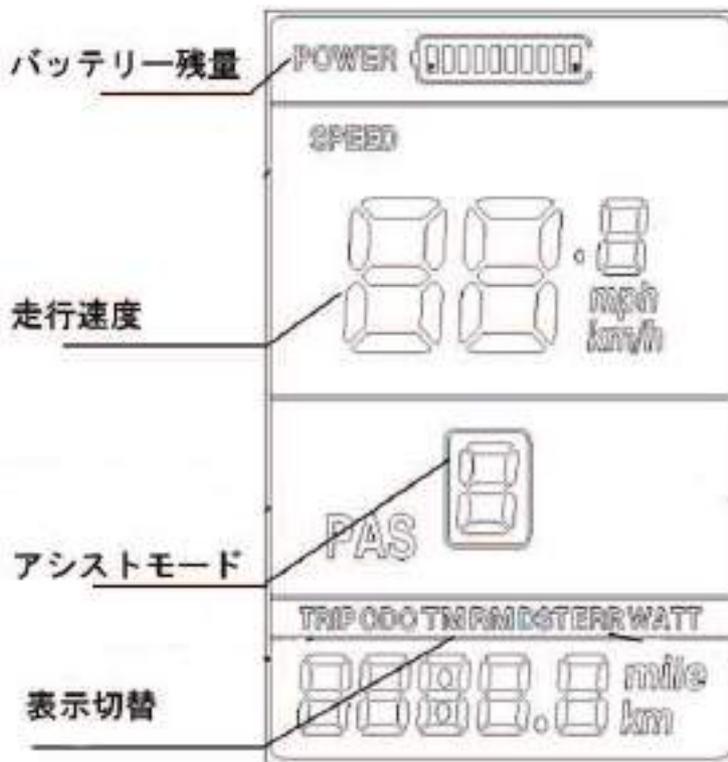
バッテリーと接続端子を離した状態で、スイッチの電源ボタンを押し、確実に放電してから、バッテリーを引き抜いてください。

 <b>禁止</b>	<p>キーを充電口に差し込むと、ショートを起こし大変危険です。</p>
 <b>注意</b>	<p>バッテリーを取り出す際に<u>バッテリー側面に端子が接触すると、火花が発生するおそれがあります。</u> <u>12ページの指示に従い、放電してからバッテリーを取り外してください。</u></p>
 <b>注意</b>	<p>バッテリーをロックした状態で鍵を紛失すると、<u>車体から取り外しできません。</u>合鍵を大切に保管してください。</p>
	<p>走行中の振動でフレーム内から、カタカタと音になる場合がございます。バッテリーとフレーム内の隙間から生じる音で、異常、故障ではございません。</p>

## 7、電源スイッチ、充電方法

7-1

### 液晶メーター及び電源スイッチの取り扱い方法



アシストモード切替ボタン (+)



電源、表示切替ボタン



アシストモード切替ボタン (-)

	<p>水濡 禁止</p>	<p>生活用防水となっていますが、雨などには濡れないようにしてください。</p>
	<p>分解 禁止</p>	<p>分解はしないでください。</p>

## スイッチの操作方法

### ●電源のオン/オフ

バッテリーのメインスイッチがオンの状態（一側がオン、○側がオフ）で電源ボタンを長押しして電源を入れます（P.15図）  
同様に長押しで電源がオフになります

### ●アシスト力

アシストモード切替ボタンを押すとアシストパワーが切り替わります  
1から3までの3段階に切替が可能です

アシスト力	弱→強
アシストレベル	1→ 3

### ●モード切替

電源 ON 時に表示切替ボタンを押すと、画面下部の表示が切り替わります  
ボタンを押すたびに、総走行距離(ODO)、走行時間(TM)、エラーコード(ERR)、走行距離(TRIP)の表示が切り替わります

### ●走行距離、走行時間 のリセット

ディスプレイの電源を切り、再起動させると走行距離(TRIP)と走行時間(TM)が自動的にリセットされます。

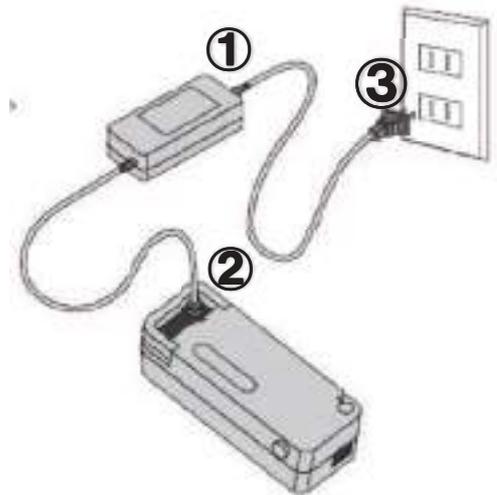
★残量表示ランプが消灯していく間隔は、バッテリーの状態や、自転車の使用状況、気温によって異なります。

★走行中に残量ランプが減って表示されますが、異常、故障ではございません。

## 7-3 充電方法

### <差し込み充電器>

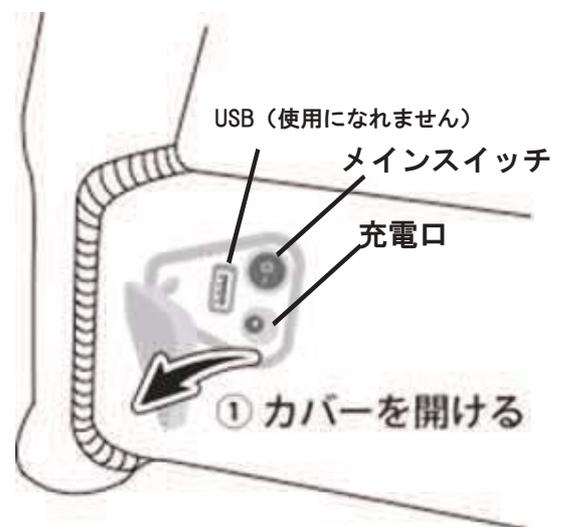
- ①充電器にコードを差し込みます。
- ②バッテリーに充電器をしっかりと差し込みます。
- ③バッテリーと充電器を繋げてから、コンセントに差し込みます。



充電完了後は、上記③②①の順に取り外してください。

また、バッテリーを車体に装着したままでも充電が可能です。  
車体左側、メインフレーム前方のカバーを開け、充電口に充電器の端子を差し込みます。

なおバッテリーのメインスイッチは、一側がオン、○側がオフです。

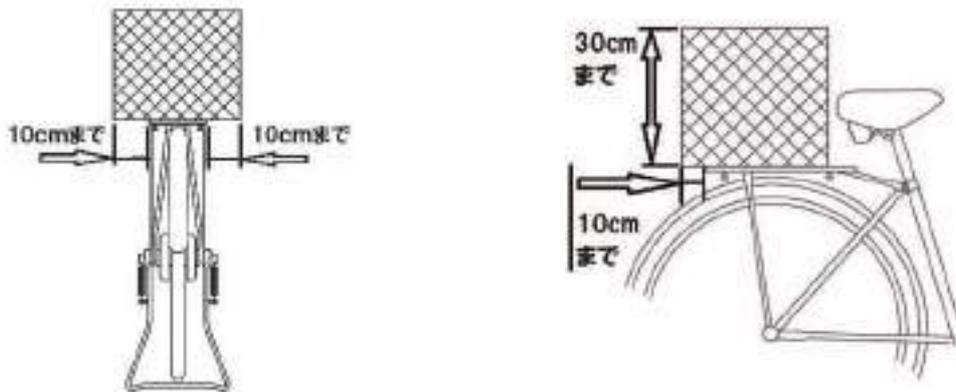


車種	充電中ライト色	充電完了ライト色
BARON X20、26 GRAN BATTEMENT	赤色	緑色
SEAGULL 20、26	赤色	緑色
GLISSADE、PIROUETTE	オレンジ色	緑色
GRANDDEUX、Petit Chasse	赤色	緑色
Releve	赤色	緑色

## 8、使用条件

### 8-1 最大積載重量

積載装置を装備した場合の最大積載重量及び積載物の大きさ(積載装置を装備していないときには適用されません)



	タウンサイクル	スポーツ車
大きさ	高さ 30cm まで キャリアの幅、長さ+10cm まで	
重さ	15 kg	10 kg

●上記の積載重量は、前カゴと後ろキャリアに荷物を積載した場合の合計した重量。(但し各都道府県の道路交通規則により異なります)



#### 警告

荷物の大きさや重さが表の内容を超えて積載すると自転車の安定性が損なわれ、転倒、事故を起こすおそれがあります。

### 8-2 幼児座席

自転車の荷台に幼児座席を取り付け、お子様(6歳未満)をお乗せになる場合は、荷台に表示されている**最大積載重量**をご確認の上、ご使用をお願いします。

- 荷台の最大積載重量を超えてご使用されると、自転車がふらついたり、幼児座席が外れたりと大変危険です。

- お子様を幼児座席に乗せられる場合は、後ろキャリアに「27kg」、「MAX27kg」、「25kg」、「C-25」、「CLASS 25」、「MAX25kg」などの刻印、又はシールなどで表記されているものを必ずご使用ください。
  - キャリア表記の最大積載重量は、チャイルドシートと幼児の重量の合計となります。
- ★前後にお子様を乗せられるには、幼児2人同乗適合車の車種に限ります。**

最大積載重量	幼児同乗	荷物を積載の場合
<p>前のみ使用</p>	<p>15kg</p>  <p>幼児＋荷物＝15kgまで</p>	<p>3kg</p>  <p>荷物のみ＝3kgまで</p>
<p>後ろのみ使用</p>	<p>22kg</p>  <p>幼児の体重のみ＝22kgまで</p>	<p>27kg</p>  <p>後ろカゴ＋荷物＝27kg</p>

## 9、調整

### 9-1 サドル高さ

サドルに腰をおろし、ペダルを一番下にし、足をのせた時は、膝が軽く曲がる程度の高さが適当です。お子様を乗せられる方は両足のかかともが地面に確実に接するくらいの高さに調整してください。



#### 警告

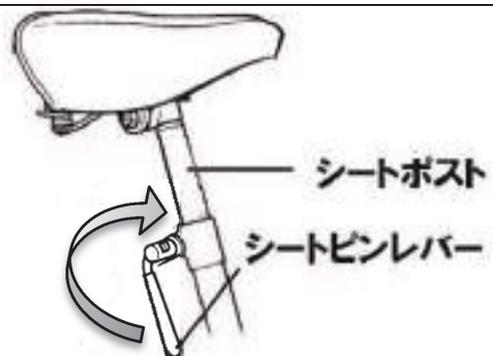
最も高くした場合でも、シートポストの嵌め合わせ限界標識が見えなくなるまで挿入してください。越えて使用した場合は折損して大変危険です。

### 9-2 調整方法

#### サドルの上げ下げ

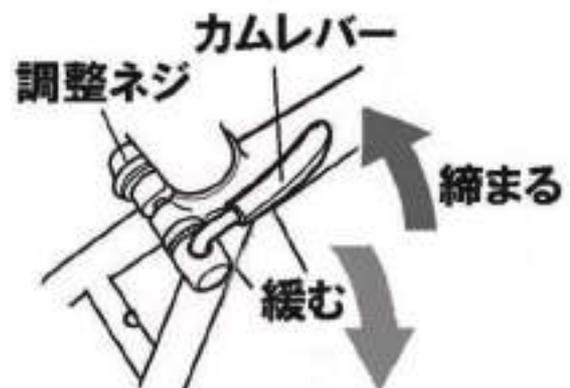
##### ● レバー式シートピン

シートピンレバーを時計回りと反対方向に回すとシートポストが緩みます。固定する場合は時計方向に回して締め付けます。



##### ● クイックレバー式シートピン

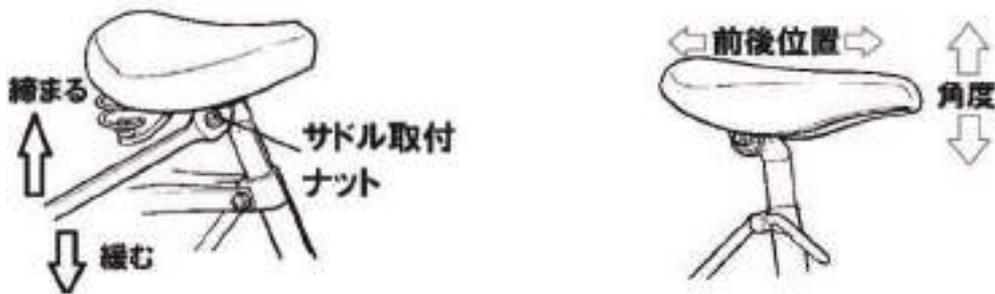
カムレバーを右図の緩む方向に操作すると、シートポストが緩みます。固定する場合はカムレバーをしめる方向にいっぱい押し付けます。シートポストが十分固定していなかったり、きつく締め過ぎている場合は、調整ネジを回して調整してください。



## 9-3 調整方法(サドル角度)

### <タウン車>

サドルの前後位置及び角度はサドル取り付けナットを緩めて、調整します。  
調整後はサドルをフレームの中心に合わせて、サドル取り付けナットをしっかりと締め付けてください。



### <スポーツ車>

サドル下の固定ボルトを緩めて、前後位置及び角度を調整します。  
調整後は取り付けボルトをしっかりと締め付けてください。



**注意**

クイックレバー式シートピンでサドルを固定する際には、カムレバーを開閉して固定してください。カムレバーを回して固定すると締め付けが弱く危険です。

## 9-4 調整方法(ハンドル)

### <タウン車>

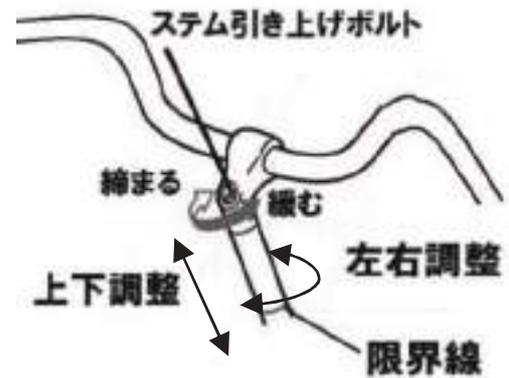
#### ◆高さ、固定

①六角レンチで反時計回りにまわして、引き上げボルトを緩めます。

★注意：ボルトを緩めすぎない。

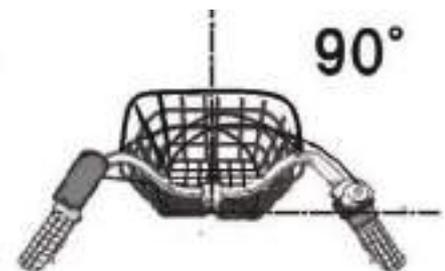
★参考：引き上げボルトを緩めても、動かないときは、ハンマーなどでボルトのあたまを叩いてください。

★右図の限界線が見えないように固定してください。



	<b>禁止</b>	限界線を越えての使用はハンドルが破損し危険です。
--	-----------	--------------------------

②ハンドルを前タイヤに対し、直角(90°)にし、ボルトを時計回りに固く締めます。



#### ◆角度、固定

①六角レンチで固定ボルトを緩めます。

②ハンドルの角度を適正な位置にし、固定ボルトを時計回りに固く締めます。



	<b>警告</b>	調整後は、 <u>確実に固定されているか確認</u> をしてください。 <u>固定が不十分な場合は、事故、破損のおそれがあります</u>
	<b>指示</b>	調整が難しい場合や、異常を感じた場合は <u>必ず安全整備店に点検、調整を依頼</u> してください。

## 9-5 <スポーツ車>

### ◆ハンドルステム角度、固定

アンカーボルトを緩めて、ハンドルバーを前車輪と直角の位置に保持し、ハンドルの回転具合を確認しながら、アンカーボルトを締めてください。

アンカーボルトの締め付けによる玉当たり調整を適正まで締め付けが出来たら、クランプボルトを交互に徐々に締め付けて固定してください。



\*組立完成車を購入のお客様へ

出荷時はアンカーボルトは調整済みですので、ハンドルの向きを合わせ、クランプボルトの固定をお願いいたします。

★高さ調整はタウン車と違い調整できません。



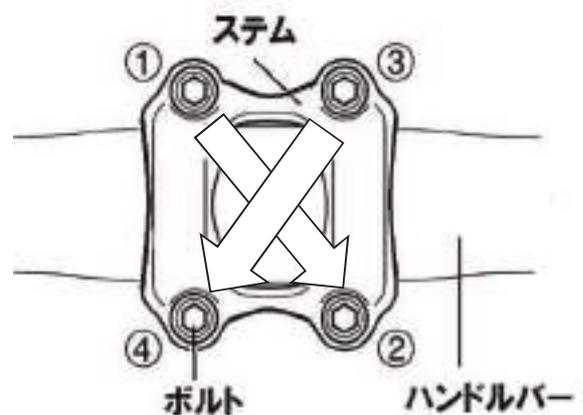
### 注意

アンカーボルトを締めすぎると、ヘッドの回転が重くなり、破損、故障の原因となります。

### ◆ハンドルバー角度、固定

ハンドルバーをステムに取り付け固定する時は、右図の順番に従って少しずつ締め付けてください。

最後は確実に締め付けて、ハンドルが回らないか確認をしてください。



## 9-6 <アジャスタブルステム>

### ◆高さ、固定

六角レンチでステム引き上げボルトを緩めます。  
限界線が見えないように高さを保持し、タイヤ  
と直角になるように固定してください。



★注意：ボルトを緩めすぎない。

★参考：引き上げボルトを緩めても、動かないときは、  
ハンマーなどでボルトのあたまを叩いてください。

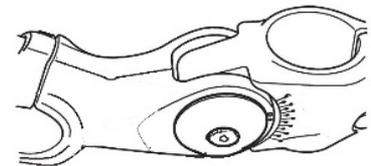
★右図の限界線が見えないように固定してくださ  
い。



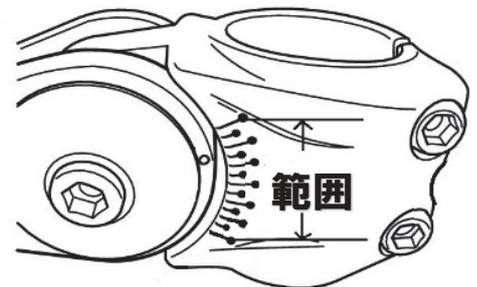
<b>禁止</b>	限界線を越えての使用はハン ドルが破損し危険です。
-----------	------------------------------

### ◆ステム角度、固定

左側のボルトと下側のネジを緩めます。



角度を固定できる範囲内に合わせて、下側から  
締め込み、確実に固定が出来たら、ステム左側を  
固定します。・・・範囲外では固定しないでください



<b>注意</b>	ステム下側を締めこむ際に、 <u>溝に合わせて締めこむこと</u> ・・・ 溝にあっていない場合はガタがでて、破損する可能性があります。
-----------	---

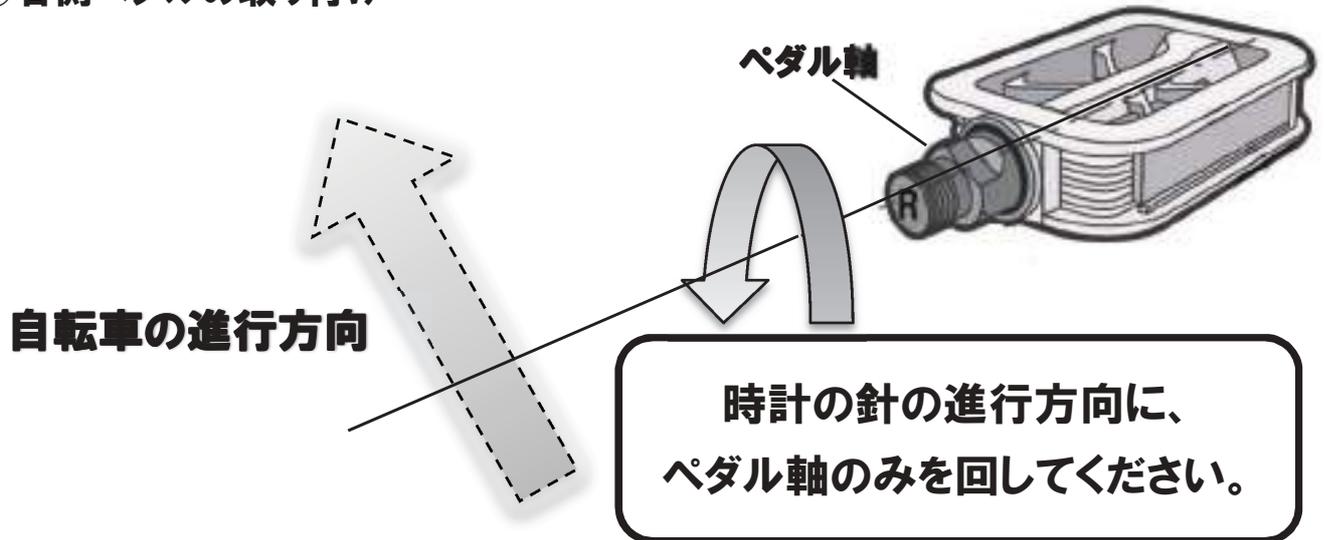
## 9-7 ペダルの取り付け方法

ペダルには右用ペダルと左用ペダルがあります。

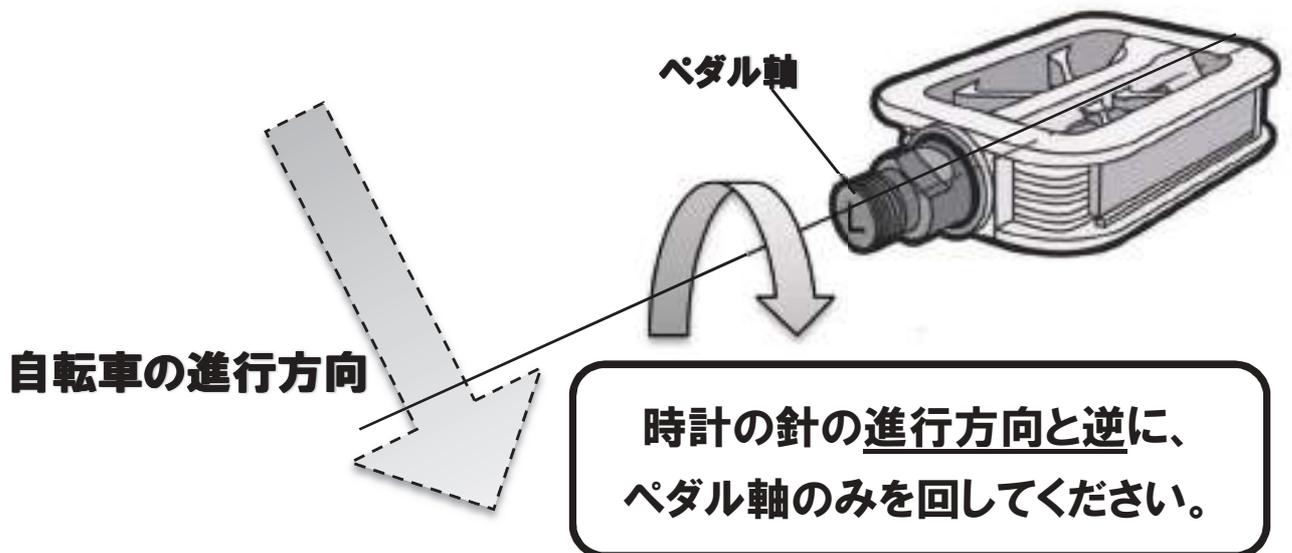
右と左ではネジの切りかたが違い、取り付けの際に回す方向が異なります。

下記を読み、よく確認して取り付けてください。

### ① 右側ペダルの取り付け



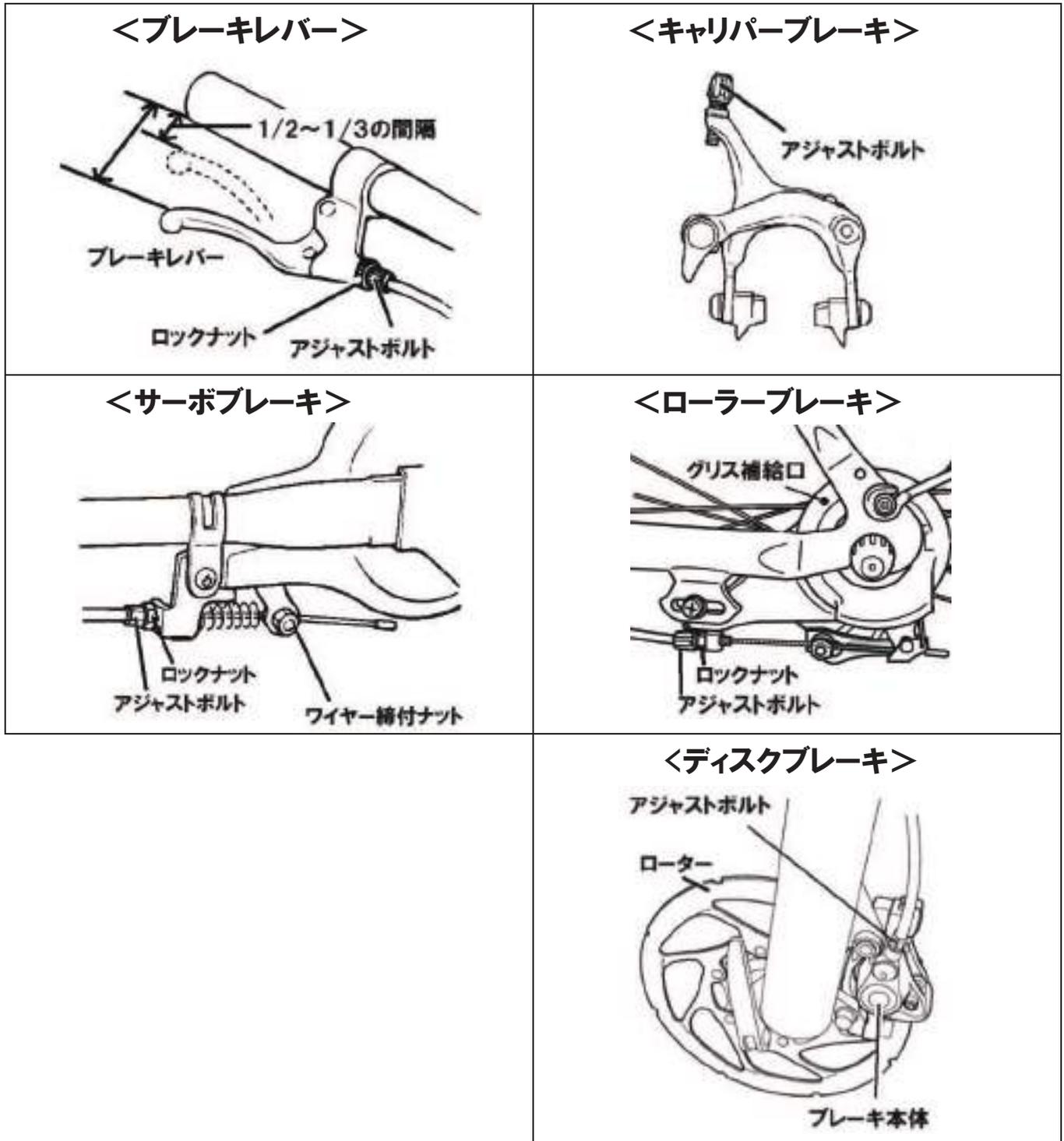
### ② 左側ペダルの取り付け



 <p><b>注意</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ネジを入れる際は、手でネジがある程度入るのを確認してから、ペダルレンチ又は 15mm スパナで、締め込みを行なってください。</li><li>●取り付けの最後は、柄の長い工具で強く締め込みを行なってください。</li></ul>
 <p><b>危険</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>●締め込みのトルクが弱いと、走行中にペダルが外れ大変危険です。</li></ul>

## 9-8 調整方法(ブレーキ)

●自転車を\_usingして\_いますとブレーキワイヤーの伸びや、シュー、パッドの\_磨耗\_によりブレーキレバーの\_あそび\_が大きくなり、効きが悪くなって\_きます\_。常にブレーキが効くように調整してください。



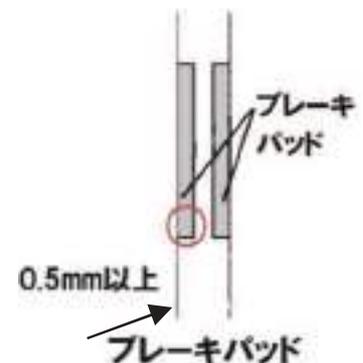
### <ブレーキレバーの遊びと調整>

- ①ブレーキレバーのロックナットを緩めます。
- ②アジャストボルトを右に回すと緩み、左に回すとしまりが強くなり、ブレーキレバーのあそびが少なくなります。
- ③ブレーキレバーのあそびが1/2～1/3に調整が出来たら、ロックナットを締めて固定します。

### <ブレーキシュー、パッドの磨耗>

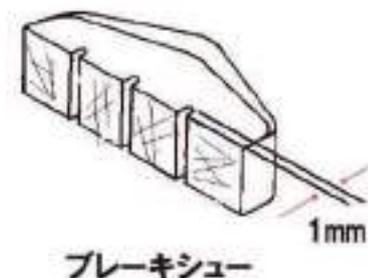
#### (ディスクブレーキ)

ブレーキパッドが残り0.5mm以下に減ったら、整備店にて交換してください。



#### (キャリパーブレーキ、Vブレーキ)

ブレーキシューの溝が残り1mm以下に減ったら整備店にて交換してください。



★ローラーブレーキは1年に1回程度でローラーブレーキ専用グリスを整備店等で補給してください。



注意

ブレーキワイヤーは、1年に1回整備店にて交換をしてください。ほつれなどがある場合は直ちに整備店にて交換を依頼してください。



警告

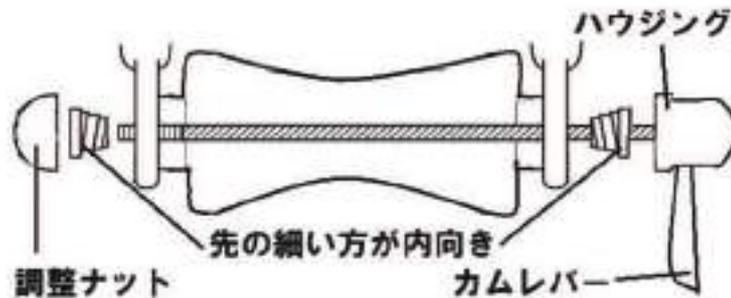
ブレーキ各部は、説明書記載以外の調整を絶対に自分で行なわないでください。

## 7-9 クイックリリースハブの取り付け、取り外し

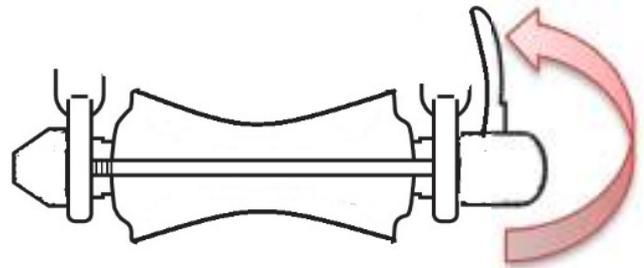
(対象: グランビート後輪、グリッサード前輪、バロンX26前輪)

### (クイックリリースハブの構造)

●クイックリリースハブはカムレバーを転回して『締め』、『緩め』をおこなう構造となっています。



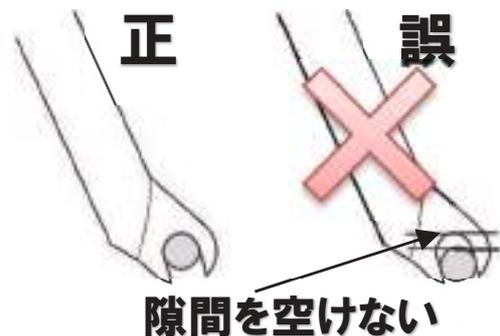
◆調整ナットを右回転に回し、カムレバーが半分閉じたときに固くなる状態まで回します。



**禁止**

カムレバーを回して締め付けしないでください。回して締めこむと固定が不十分な為、車輪が外れて重大な事故を起こす可能性があります。

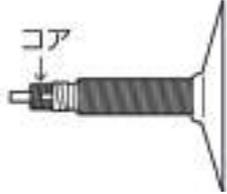
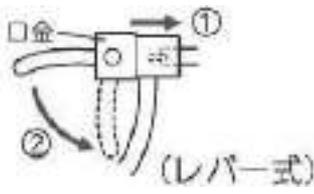
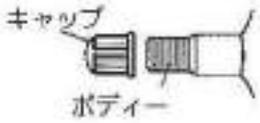
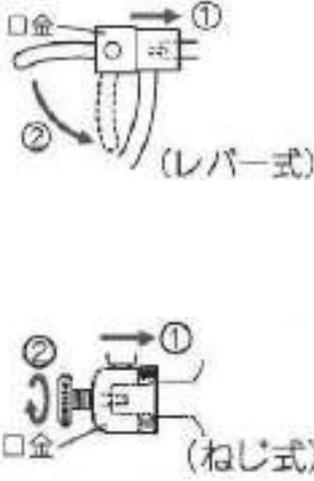
◆車輪を取り付ける際にハブ軸を右図のようにフォークエンドの奥まで嵌めてから、取り付けること。



**強制**

レバーを固定する際は必ず車輪とフォークが平行になるように固定してください。斜めに固定し走行されると車輪が外れたり、ブレーキが破損する可能性があります。

## 9-10 ハルブの種類と空気の補充方法

種類	バルブの種類	ポンプの種類	補充方法
仏式			コアを回して緩めてから口金を取り付け、空気を入れます。空気を入れ終わったらコアを締めます。
米式			ボディーにポンプの口金を取り付けて、空気をいれ、圧を確認する。 ① ボディーにポンプの口金を押し込む。 ② レバーを閉じる。 ③ ネジを回す。 ③ 空気をいれ、圧を確認する

●適正空気圧は、タイヤ側面をみて確認してください。

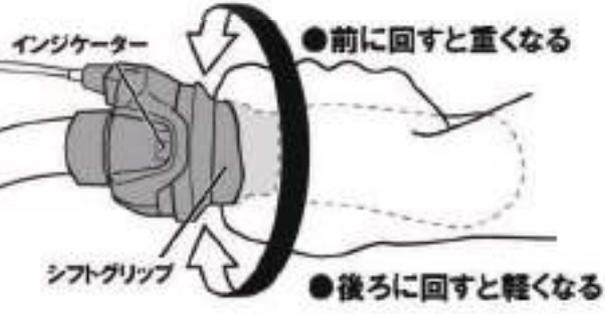
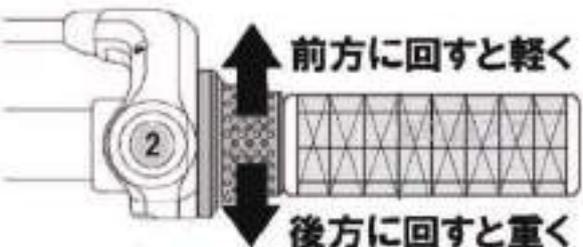
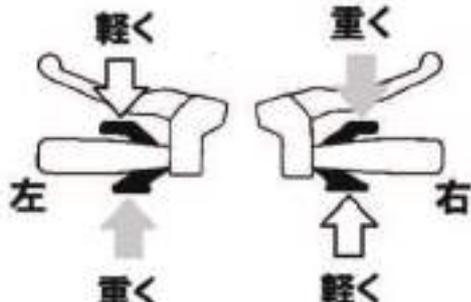
●ポンプの固定方法は、メーカーによって異なる場合があります。ポンプの取り扱い説明書を確認してください。

	<b>注意</b>	空気圧が少ない状態で走行されると、 <u>アシスト作動距離が大幅に短くなり、またリムの変形やタイヤの磨耗の原因</u> となります。 <u>空気の補充は2～3ヶ月に一度</u> してください。
---	-----------	--

	<b>注意</b>	英式バルブは、ブランジャー内側にある <u>虫ゴムを3～6か月毎に交換</u> してください。虫ゴムが劣化すると空気が抜けてしまいパンクと同じ状態となります。
---	-----------	---

# 10、変速レバーの種類と操作方法

## 10-1 変速レバーの種類

<p><b>外装変速6、7段</b></p> 	<p><b>外装変速6、7段</b></p> 
<p><b>内装変速3段</b></p> 	<p><b>前後外装変速</b></p> 

◆変速を切り替えるときは、1段ずつ足の力を軽くして切り替えてください。

◆前後外装変速は左が前の変速機、右が後ろの変速機の切り替えとなります。

<p> <b>禁止</b></p>	<p>シフトチェンジの際はペダルを強く踏まないでください。ペダルを踏み外したり、変速機の故障の原因となります。</p>
<p> <b>禁止</b></p>	<p>ペダルを逆回転しながらシフト操作は行なわないでください。変速機が破損する可能性があります。</p>
<p> <b>禁止</b></p>	<p>1度に2段以上のシフトチェンジをしないでください。チェーンが外れたり、ペダルを踏み外す可能性があります。</p>
<p> <b>禁止</b></p>	<p>外装変速機は、停車中にシフト操作をしないでください。チェーンが外れたり、変速機が破損したり、調整がくるう可能性があります。</p>

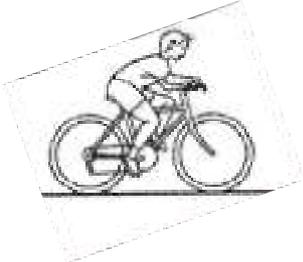
## 10-2 操作方法

### <シフトチェンジとペダルを踏むタイミング>

	内装変速機	外装変速機
走行中	シフト操作するときは、ペダリングを止めます	シフト操作するときは、軽くペダリング(正回転)しながら行ないます
停車中	停車中でもシフトチェンジは可能です	停車中にシフト操作はできません

★内装変速機と外装変速機の違いは、後ろ車輪の右側にギアが2枚以上あるものが外装変速機となり、ギアが1枚のみの物が内装変速機となります。

### <走行状況とシフト位置>

走行状況	シフト操作	
 <p>上り坂</p>	<p><b>シフトダウン</b></p> <p>7→1の方へ</p>	<p>ペダルの回転が軽くなり坂を上がりやすくなります。</p>
 <p>平坦な道</p>	<p><b>シフトアップ</b></p> <p>1→7の方へ</p>	<p>ペダルの回転が重くなり、スピードが上がりやすくなります。</p>

# 10、乗車前点検

## 10-1 乗車前点検1

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●乗車前点検は必ず実施してください。</li><li>●点検で異常がみられた場合はすみやかに整備店で点検をしてください</li></ul>
---	---



 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●スポークが1本でも折れたまま使用を続けると、他のスポークに負担がかかり、寿命を短くします。折れた場合は、直ちに使用を中止してください。</li></ul>
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●フロントフォークは、一度でも大きな転倒や衝突をした場合は、外観に損傷が無くても使用しないでください。</li></ul>

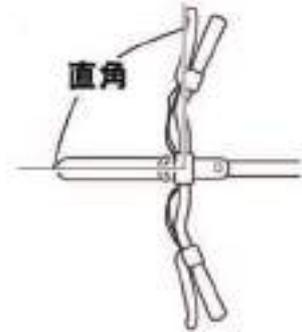


 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●リアディレーラーが曲がっている場合は、使用を中止してください。</li></ul>
---	--

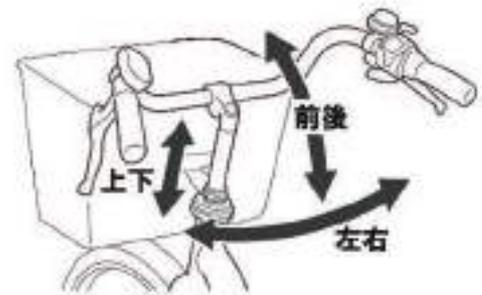
## 10-2 乗車前点検

### <ハンドル>

①ハンドルが前輪に対して直角に固定されているかを点検します。



②ハンドルが前後左右上下に動かないかを点検します。

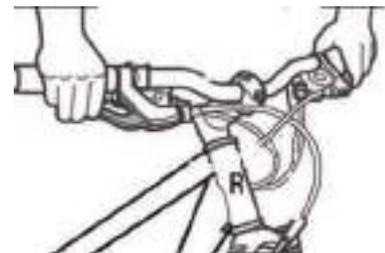


③前に回って前輪を足ではさみ、動かないかを点検します。



### <ブレーキ>

①ブレーキを握って、前後に動かないかを点検します。



②ブレーキのあそびが多い場合は、右図の調整ネジで調整をし、1/2 の遊びに調整し、ロックナットを締めこみます。





## 警告

各部にガタ、緩み、変形、ひび割れがある場合は、**乗らない**でください。



## 強制

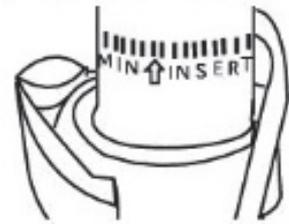
ハンドルを締め付けても、**ガタ、緩み**があるときは、**直ちに**使用を止め、整備店で点検を受けてください。

### 10-3 乗車前点検

#### <シートポスト、ステム限界線>

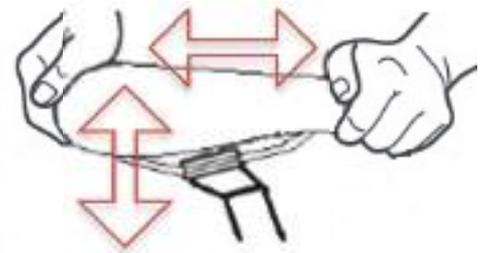
ハンドルステムとシートポストが限界線が外に出ていないかを点検します。

限界線が見える位置まで出ている場合は、見えない位置まで高さを下げて固定します。



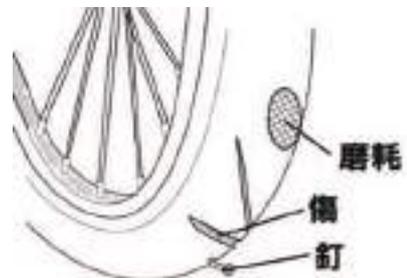
#### <サドル>

サドルを上下左右に力を加えて、動かないかを点検します。



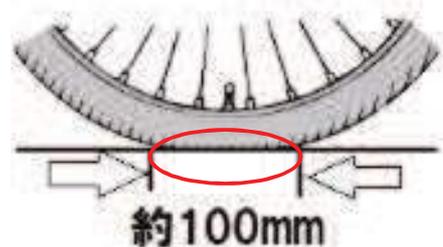
#### <タイヤ>

タイヤが磨耗していないか、深い傷などがいないか、異物や釘などが刺さっていないかを点検します。



#### <空気圧>

① 自転車に乗った状態で接地部の長さが 100mm 程度が適正です。



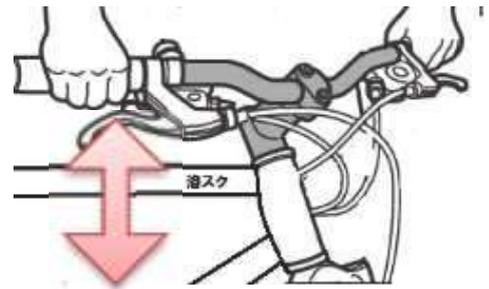
② 適正空気圧は、タイヤの側面に表記されていますので、確認して空気をいれてください



## 10-4 乗車前点検

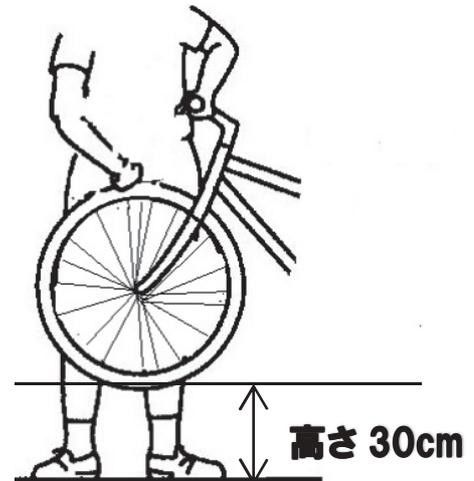
### <前輪の取り付けとガタの確認>

①グリップを握ってハンドルバーを上下に力をいれてガタがないかを点検します。



②前輪を持ち上げて、前輪を上下左右に動かないかを点検します

③持ち上げた前輪を地面に落として異音やガタがないかを点検します。



## 11、定期点検について

 <b>警告</b>	点検、整備、組み立ては安全整備店、安全整備士、又はそれと同等の技術を有するものにより受けてください。
---	--

### ●初回(2ヶ月目、または100km走行後)点検

購入から2ヶ月目ぐらいは、ワイヤーの伸びや、ネジの緩みが生じる場合がございます。お買い上げの販売店、又は安全整備店で保証書・点検整備記録をお持ちいただき点検を受けてください。使用状況により、部品の交換が必要になる場合は部品代金、交換工賃が有料となります。

### ●定期点検

電動アシスト自転車を長く安全にお乗り頂くために、異常を感じたら、直ちに点検を受けてください。又、お買い上げ頂いてから、6ヶ月目、12ヶ月目以降半年毎に異常が感じられなくても点検をお受け下さい。(有料)

消耗部品や異常箇所をそのままお乗り頂くと、大変危険です。

定期点検は、事前に異常箇所を見つけ出し、自転車を長く使用して頂くために必須です。

また定期点検を実施していない場合には、保証期間内であっても、保証の適用が受けられませんので、あらかじめご了承ください。

 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>●ブレーキは乗車前点検に加え、定期的に安全整備店で点検を受けてください</li><li>●ブレーキワイヤーは異常がみられなくても、1年毎に交換してください。</li></ul>
---	--

## 12、各部名称



- |              |            |
|--------------|------------|
| ①グリップシフト     | ⑫ペダル       |
| ②ハンドルバー      | ⑬クランク      |
| ③ステム         | ⑭サドル       |
| ④折りたたみレバー    | ⑮シートポスト    |
| ⑤フロントブレーキ    | ⑯リアサスペンション |
| ⑥フロントサスペンション | ⑰チェーン      |
| ⑦タイヤ         | ⑱リアブレーキ    |
| ⑧スポーク        | ⑲スプロケット    |
| ⑨モーター        | ⑳ディレーラー    |
| ⑩フレーム        |            |
| ⑪クランクギア      |            |

## 故障かな？と思ったら

症状	確認箇所	症状改善方法
ペダルが重い アシストしない	バッテリーは確実に装着されていますか？	バッテリーを外して再度確実に装着してください。
	タイヤの空気が減っていませんか？	タイヤの空気圧を確認して、適正空気圧で入れてください。
	手元スイッチの残量ランプは、点灯していますか？	スイッチのコネクターを外して、再度取り付けてください。詳細図参照
	気温が高いところ、もしくは上り坂で長時間使用していませんか？	モーター、バッテリーに負荷がかかり制御機能が働いています。しばらく時間を空けてから使用してください。
	バッテリーを気温の低いところで保管していませんか？	バッテリーを 10℃～20℃くらいの場所で保管して頂くと症状を軽くする事ができます。
	走行中に手元スイッチのランプが全て消灯した。	バッテリーの残量が無くなった可能性があります。バッテリーを充電してください。
	スイッチの残量は点灯するが、アシストしない。	図詳細を参照。

★症状改善方法で、改善されない場合は販売店にご連絡ください。

症状	確認箇所	症状改善方法
走行距離が短い	バッテリーは満充電されていますか？	バッテリーが満充電になるまで充電してください。満充電でも、寿命によってバッテリー容量が低下している場合は、走行距離が短くなります。
	タイヤの空気圧は適正ですか？	タイヤ側面の空気圧になるように空気を充填してください。タイヤの空気圧が減っていると、抵抗が大きくなり、バッテリーの減りが早くなり走行距離が短くなります。
	坂道での使用が多くないですか？	坂道での使用が多いと高負荷運転となり、バッテリーの消費が早くなります。
	温度が高いところや低いところで使用していませんか？	気温が適温(15℃～25℃)になると回復します。また充電される際には、室内の適温場所で充電をしてください。
	前後の車輪はスムーズに回りますか？	乗車前点検を実施して車輪がスムーズに回っているか確認してください。 車輪がスムーズに回らない場合は、安全整備店にて点検を行なってください。
	発進、停止を多く繰り返していませんか？	発進時には、大きな電力を使用するため、バッテリー消費が早くなります。
	バッテリーが消耗していませんか？	1回の充電あたりの走行距離が著しく短くなり、適温(15℃～25℃)で保管しても回復の兆しがみられない場合は、バッテリー交換時期と考えられます。

症状	確認箇所	症状改善方法
充電できない	充電器とコードはしっかりと接続されていますか？	充電器とコードの接続部分をしっかりと嵌めてください。
	充電器のランプは正常に点灯していますか？	販売店にご連絡ください。
	充電直後ではありませんか？	満充電後に、追加充電はしないでください。 充電器が熱くなりすぎた場合は、制御機能が働き充電ができません。温度が下がってから、充電してください。
	バッテリーの残量ランプは点灯していますか？	販売店にご連絡ください。
充電器が熱い	手で触れる事が出来る程度	充電中はバッテリー、充電器は多少の熱(40℃～60℃)を持ちますが異常ではありません。
	手で触れる事が出来ない程熱い	直ちに使用を中止して販売店にご連絡ください。
異臭、煙がでる	バッテリーの下から煙がでて、異臭がしている	直ちに使用を中止して販売店にご連絡ください。
	充電器から煙がでて、異臭がしている	直ちに使用を中止して販売店にご連絡ください。
満充電にしたが手元のスイッチの残量ランプが全て点灯していない	充電している場所が適温ですか？	適温(15℃～25℃)で、充電をしてください。

症状	確認箇所	症状改善方法
ブレーキの効きが悪い	ブレーキレバーのあそびは大きくなっていませんか？	ブレーキ調整のページを確認して調整してください。
	ブレーキのシュー、パッドが減っていませんか？	安全整備店でブレーキシュー、パッド交換を依頼してください
変速が出来ない、カタカタと音が鳴る	ディレラーが曲がっていませんか？調整がくるっていませんか？	安全整備店で点検を依頼してください。

	<h2>警告</h2>	<p>症状改善方法を実行しても異常がみられる場合は、使用を中止して販売店にご連絡ください。</p>
---	-------------	---

	<h2>警告</h2>	<p>点検、整備、組み立ては安全整備店、安全整備士、又はそれと同等の技術を有するものにより受けてください。</p>
---	-------------	---

# 故障かな?と思ったら 全体図



## 【故障かな?と思ったら 図詳細】

図 A

コネクタを外して取り付ける際には、  
凸凹があるものは、溝に沿って接続して  
ください。

コネクタに矢印が刻印されているものは  
矢印と矢印の向きを合わせて接続してくだ  
さい。



## 製品仕様

Gran Battement (グランビート) 製品仕様		
寸法	全長	172cm
	全幅	62cm
	全高	107cm
	サドル地上最低高	84cm
	ホイールベース	115cm
	折りたたみ時サイズ	L105cm×H94.5cm×W62.5cm
車両重量 (バッテリー除く)		24.6kg
最大積載重量 (体重+積載物)		90kg
タイヤ		20×4.0HE ブロック
チューブバルブ形式		米式
フレーム素材		アルミニウム
サスペンション	前	あり
	後	あり
ブレーキ	前	ディスクブレーキ
	後	ディスクブレーキ
変速機	前	なし
	後	ShimanoTourney
変速方式		外装7段レボシフター
アシストモード		3段階切替
液晶ディスプレイ表示		バッテリー残量、アシストモード、走行速度、走行距離、積算距離
センサー方式		トルクセンサー
モーター	形式	ブラシレスモーター
	定格出力	250W
	人力：電力補助の比率	最大1:2
	駆動方式	前輪駆動
	アシスト速度範囲	24km/h未満
バッテリー	形式	リチウムイオン
	電圧	24V
	容量	7.8Ah / 13Ah
	重量	1.4kg / 2.2kg
充電器	形式	プラグ差込型
	電源	AC100V
	充電時間の目安	6時間 (7.8Ah) / 9時間 (13Ah)

## 自転車安全利用五則

### 1、 自転車は、車道が原則、歩道は例外

道路交通法上、自転車は軽車両と位置づけられています。したがって歩道と車道の区別があるところは車道通行が原則です。

### 2、 車道は左側を通行

自転車は、道路の左端に寄って通行しなければなりません。

### 3、 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

歩道では、すぐに停止できる速度で、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。

### 4、 安全ルールを守る

- ・飲酒運転は禁止
- ・二人乗りは禁止
- ・並進は禁止
- ・夜間はライトを点灯
- ・信号を守る
- ・交差点での一時停止と安全確認

### 5、 子供はヘルメットを着用

児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗用車のヘルメットをかぶせるようにしましょう。

# 点検・整備チェックリスト

✓:異常なし    A:調整、注油    R:修理    ×:交換    C:掃除    N:部品の欠落

点検箇所	点検項目	2ヶ月目	1年目	半年毎	半年毎	半年毎
フレーム 前フォーク	変形、折損、ひび割れはないか ヘッド、ハンガー、小物にガタや磨耗はないか					
ハンドル	固定は確実か、ハンドルステムの挿入は適正か ヘッド、ハンガー、小物にガタや磨耗はないか					
泥除け	変形、取り付け、ネジの弛みはないか					
キャリア	変形、折損、ネジの弛みはないか					
前後車輪、 リム、ハブ、 スポーク、	固定は確実か、リムに変形、振れはないか スポークに弛み、折損、折れ曲がりはないか 玉押しのガタはないか					
タイヤ	切傷、磨耗、はないか、空気圧は適正か					
ギヤクランク	ギヤ板の触れ、ひび、曲がり、ガタはないか クランクナットの弛みはないか					
ブレーキ	効き具合は適正か、ワイヤーにひび、ほつれはないか レバーの引きしろに余裕はあるか ブレーキシューの減りはないか					
変速機	調整、作動は適正か 本体にゆるみはないか					
チェーン	油切れ、たるみ、折損はないか ギヤとのかみ合わせは適正か					
サドル	固定は確実か 変形、折損などはないか					
ライト	点灯、照射は正常か、ネジの弛みはないか					
ペダル	固定は確実か、クランク側にバリはないか 回転軸にガタ、折損はないか					
スタンド ベル	ガタ、変形、破損はないか、作動は正常か 作動は正常か					
各部注油	チェーン、ワイヤー、変速機、スタンド、シリンダー					
チェーンケース	変形、ネジの弛み、折損はないか					
リフレクター	反射は正常か、欠落はないか					
その他	各部のネジの弛みはないか					
	定期点検、整備 を 実施した店舗と年月日	(印) 年月日				

## ★定期点検、調整

- お買い求め後 2ヶ月前後に1回目、2回目を1年後、以降は半年毎に整備店で実施してください。
- 定期点検の実施印、年月日、実施が行なわれていない場合は、保証対象外となります。

